

多職種を理解する 第3弾

地域包括ケアシステムにおける生活環境整備に必要な補装具の介入

主催 一般社団法人 日本義肢装具士協会
研修委員会 北海道支部
一般社団法人 日本義肢協会 北海道支部

近年、新たな義肢装具士のフィールドとして注目される在宅医療。厚生省は 2025 年を目途に在宅で医療福祉に関わる包括的な支援・サービス提供体制「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。

他の業種がこの枠組みに参加し、サービス提供の流れを作っている中、義肢装具領域に関しては出足が遅れていると言わざるを得ません。在宅医療の転換期を迎える今、義肢装具を円滑に供給する流れ作りをする責任を負うのは他ならぬ義肢装具士です。

本セミナーでは「地域包括ケアシステム」の理解に向けた解説と、在宅期・生活期の方への義肢装具士の関わり方を改めて考えるヒントとなるようなご講演を頂きます。皆様の参加を心よりお待ちしております。

記

到達目標：① 2025 年になるまでに地域包括ケアシステムに義肢装具領域を機能させることができる。
② 地域包括ケアシステムの概要を理解できる。
③ 地域包括ケアのサービスと制度の仕組みを理解できる。
④ 在宅で義肢装具士がどのように介入していくのか、その方法論を講演から理解できる。

内 容：日本義肢装具士協会企画テーマ：「地域包括ケアと義肢装具～迫りくる 2025 年問題～」

講 師：講演1：「地域包括ケアシステムの概要について」

芦崎祐公先生（清田区第2地域包括支援センター・センター長・主任介護支援専門員）

概要：地域包括ケアとはなにか？という基礎的なお話をいただきます。聴講者の皆様には、システムの中で義肢装具士が活躍するイメージを持つための大変良いヒントになると思います。

講演2：「在宅期・生活期のスムーズな補装具提供への取り組み～道東地区での一例～」

佐藤健斗先生（株式会社 田村義肢製作所 営業部・義肢装具士）

概要：在宅期・生活期での補装具に関する相談は、多方向からやってきます。このような中でスムーズな補装具の提供を行う為の実際の取り組みを紹介していただきます。

内 容：日本義肢協会企画テーマ：「装具難民を救え」，「失敗談から学ぶ症例報告」

講 師：講演3：「在宅における義肢装具士の関わり」

久米亮一先生（有限会社 吉田義肢装具研究所 義肢装具士）

概要：長年在宅をフィールドに活躍されている義肢装具士に、経験や臨床での調査を元に、お話しいたします。多くの人との連携を大切にしながら、補装具使用者と関係を作る久米先生の立ち回りは大変参考になります。

症例報告：「失敗談から学ぶ症例報告」3例（予定）

概要：義肢装具の製作工程・適合・採型などにおける日常の業務での失敗から得られた技術や教訓などについてプレゼンテーション形式で報告し、議論をしていきます。演題発表をご希望の方は、メールにて申込みをお願いいたします。

日 時：平成 29 年 2 月 26 日（日）

会 場：北海道科学大学 保健医療学部棟（札幌市手稲区前田 7 条 15 丁目 4-1）

定 員：50 名

参加費：正会員・購読会員・義肢協会員 4000 円， 非会員 8000 円， 学生会員 1000 円

締 切 り：平成 29 年 1 月末予定

【申込方法】

参加ご希望の方は必要事項（会員非会員の別、会員番号、氏名、勤務先、連絡先住所、電話番号、E-mailアドレス）をご記入の上、E-mailにて申し込みアドレスまでお送りください。

件名を「日本義肢装具士協会 研修委員会北海道支部セミナー申込み」としてください。

また、症例報告の演題発表希望の方は、症例報告申込みアドレスに、同様の必要事項をお送りください。

【お申込み受付先】

一般社団法人 日本義肢装具士協会 北海道支部事務局

北海道科学大学 保健医療学部 義肢装具学科内

E-mail : poa.north@gmail.com (申し込みアドレス)

kozo-seki@hokuto-po.co.jp(症例報告申し込みアドレス)

【問い合わせ先】

TEL : 011-688-2240 (研修副委員長：昆恵介)

セミナー幹事：二塚敏史(日本義肢装具士協会研修委員会)



★申し込み用 QR コード こちらの QR コードを携帯電話・スマートフォン等で読み込み、リンク先の「メール作成画面はこちら」を選択すると件名等が自動で入力されます。

タイムスケジュール(予定)

時間		内容
開始	終了	
9:30	9:55	受付
9:55	10:00	開会のあいさつ
10:00	11:00	講義(60分) 担当講師: 芦崎佑公先生 内容 : 地域包括ケアシステムの概要について
11:00	11:10	休憩
11:10	12:10	講義(60分) 担当講師: 佐藤健斗先生 内容 : 在宅期・生活期のスムーズな補装具提供への取り組み～道東地区での一例～
12:10	13:00	休憩
13:00	14:30	講義(90分) 担当講師: 久米亮一先生 内容 : 在宅における義肢装具士の関わり
14:30	14:40	休憩
14:40	15:30	症例報告:「失敗から学ぶ症例報告」3例
15:30	15:40	閉会のあいさつ

※会場周辺は、食事を取る場所や購入できる場所がありません。恐縮ですが各自で昼食の用意をお願いいたします。